

きこえない・きこえにくい人に情報が届く避難所を!!

全国の避難所となる施設・団体、高齢者施設等に「目で聴くテレビ」専用受信機「アイ・ドラゴン4」を設置してください===見える情報が命を守ります===

「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする情報アクセシビリティ対応機器です。全国の福祉避難所は26,116箇所（令和6年内閣府調査）ありますが、いま、設置されている「アイ・ドラゴン4」は286台です。

障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション
施策推進法」「手話に関する施策の推進に
関する法律」「合理的配慮の義務化」

これらの法律を活かして、ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の要望書を提出してください。

「アイ・ドラゴン4」の機能

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る
(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
- 2,500本超の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる



認定特定非営利活動法人
障害者放送通信機構は、
文化庁からリアルタイム
字幕配信事業者の指定を
受けています

聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

障害者放送通信機構は、全日本ろうあ連盟と全国の加盟団体と協力して「アイ・ドラゴン4」の普及に努め、誰一人取り残されない避難所作りをうたっています。

「アイ・ドラゴン4」を活用した「防災体験会」をおすすめします

体験会の例

- 個別避難計画(マイ・タイムライン)の作成
- 万一の場合に自分と家族が行くべき避難所の確認
- 自分が助けることができる人・一緒に避難できる人は誰かについて話し合う
- 非常時持ち出しリュックの中身を披露し合う
- 停電時にスマホを充電する方法を学ぶ
- 「目で聴くテレビ」の防災番組を見て基本的な防災減災の知識を得る



●「目で聴くテレビ」の防災番組



「目で聴くテレビ」は、きこえない・きこえにくい人たちを中心に独自の取材活動もおこなってきました。それらのドキュメンタリーについて改めてアーカイブにまとめ、防災のジャンルの中に「防災ドキュメント」というコーナーを作りました。

東日本大震災や、鳥取地震、熊本地震などの取材番組のほか防災訓練の様子など、防災に関する過去の番組をごらんいただけます。